



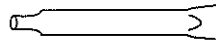




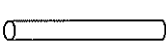

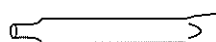




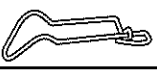
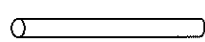
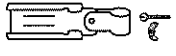
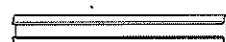

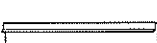
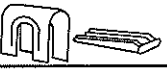
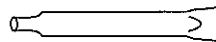

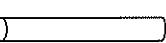
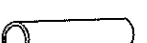
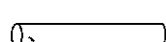
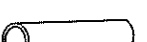
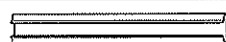


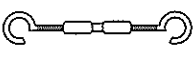
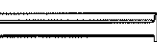

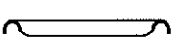
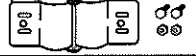
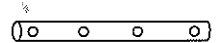

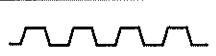


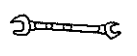


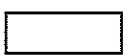


オリジナルハウス四季 OH - 3650 部材表 保存

[1605]

No.	品名	規格	数量	形状	No.	品名	規格	数量	形状
Aケース					Dケース				
①	アーチパイプ	25×220A mm cm	22		②③	天ビニール	0.1×5.4×9.0 mm m m	1	
②	カラー番線	#8×12 mm m	1		②④	側ビニール	0.1×1.85×20 mm m m	1	
Bケース					Eケース				
③	脚パイプ	25×186SP mm cm	22		②⑤	扉ビニール	0.1×2.0×1.3 mm m m	1	
Cケース					②⑥	外ジョイント	28×18cm	11	
④	横通しパイプ	22×186S mm cm	6		②⑦	ユニバーサルジョイント	28×22	2	 28×22刻印
⑤	横通しパイプ	22×140 mm cm	3		②⑧	ユニバーサルジョイント	28×25	1	 28×25刻印
⑥	前棲パイプ	25×180SP mm cm	4		②⑨	ユニバーサルジョイント	25×25	6	 25×25刻印
⑦	前棲パイプ	25×100 mm cm	2		③⑩	Tバンド	25×22	4	
⑧	前棲パイプ	25×74 mm cm	2		③⑪	フックバンド	28×22 25×22 兼用	27	
⑨	戸受けパイプ	22×120 mm cm	1		③⑫	妻金具	25mm用	16	
⑩	ビニバー(前上)	142 cm	2		③⑬	ビニバー継手		4	
⑪	ビニバー(前中/前下)	114 cm	4		③⑭	クロスワン	25×22	2	
⑫	後棲パイプ	25×180SP mm cm	3		③⑮	パイプ止金具	25用	17	
⑬	後棲パイプ	25×115 mm cm	1		③⑯	パッカー	25mm用	8	
⑭	後棲パイプ	25×87 mm cm	2		③⑰	パッカー	22mm用	20	
⑮	ビニバー(下)	188 cm	1		③⑱	Rバンド	150m	1	
⑯	ビニバー(後共通)	160 cm	3		③⑲	ターンバックル	3/8×20 cm	2	
⑰	ビニバー(後上)	123 cm	1		④⑰	ラセン杭	小	10	
⑱	扉パイプ	19×100 mm cm	4		④⑱	ドア蝶番	25×19	2	
⑲	扉パイプ	19×180 mm cm	2		④⑲	掛金		1	
⑳	スプリング	180 cm	12		④⑳	ボルトナット	M5×25	8	
㉑	ロングパッカー	19×180 mm cm	4		④㉑	スパナ		1	
㉒	ビニバー(後中)	180 cm	1		④㉒	水糸	約100m	1	
					④⑳	スポンジテープ	4.5×10 cm cm	16	

オリジナル
ハウス

四季

OH-3650型

組立説明書

NAN- 南榮工業株式会社

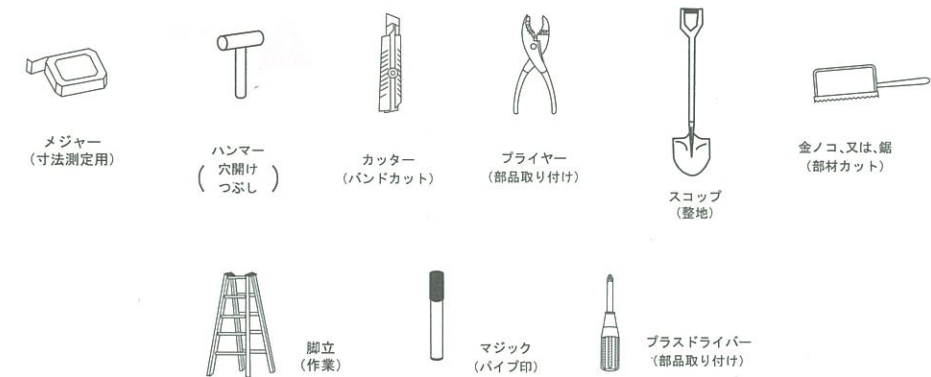
【1605】

この度は、当社の製品をお買い上げいただき誠に有難うございます。
この商品の組立て作業は、成人男性2人以上で行ってください。
組み立てる前に部材表一覧表と梱包部材に相違が無いことを確認し
(小さい部品の管理に注意する)、『安全上の注意』を良くお読みになり
安全に作業してください。



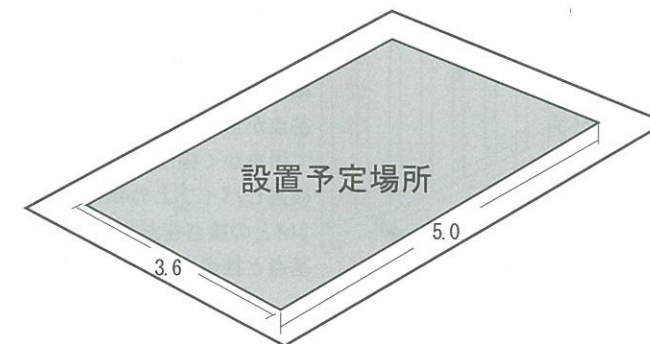
- (ケース名) (部品No) (寸法) (数量)
- 各組み立て手順の項目ごとに **Aケース ① 25×220cm 22本** の表示があります
その項目で使用する部材ですので、先ず揃えて下さい。
- 各項目ごとに組み立て手順/イラストを一回良くお読みになってから作業を進めて下さい。

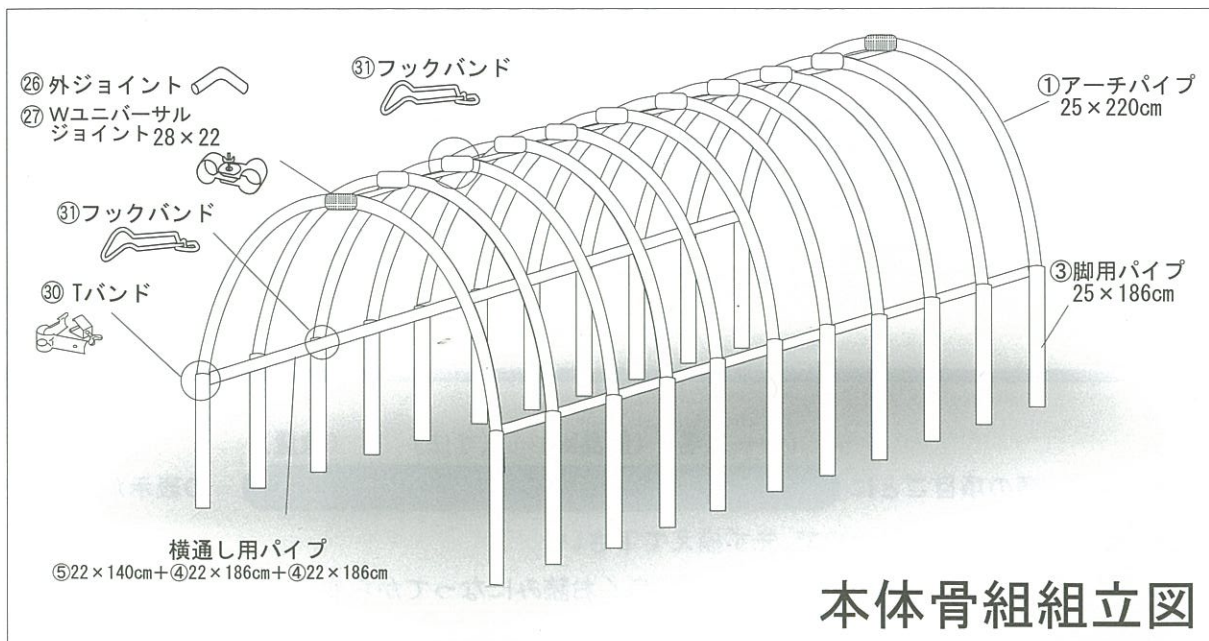
1 必要工具を準備する。



2 整地をする。

作業性を考えて広めに整地して下さい。





本体骨組組立図

まず、本体骨組みを組立てます。③～⑨までで上記骨組みが完成します。その後、後部、前部と組み立てていきます。

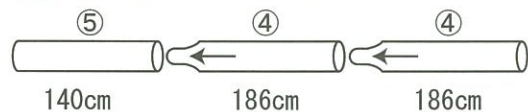
3 横通しパイプを継ぎ印を付ける。

Cケース ④ 22×186cm 6本

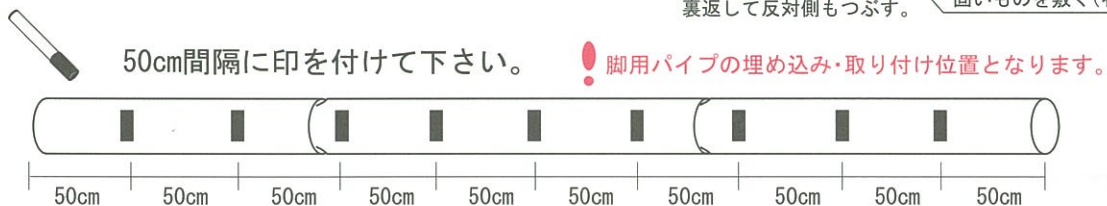
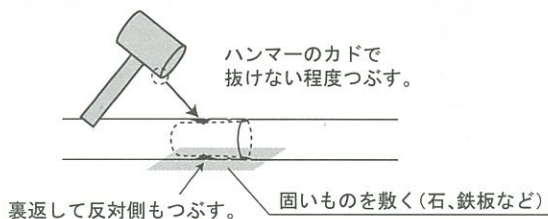
Cケース ⑤ 22×140cm 3本

- ④と④を差し込み、⑤に差し込んで下さい。
- 継いだ横通しパイプに50cmごとに印を付けて下さい。
- 継ぎ目を抜けない様にして下さい。

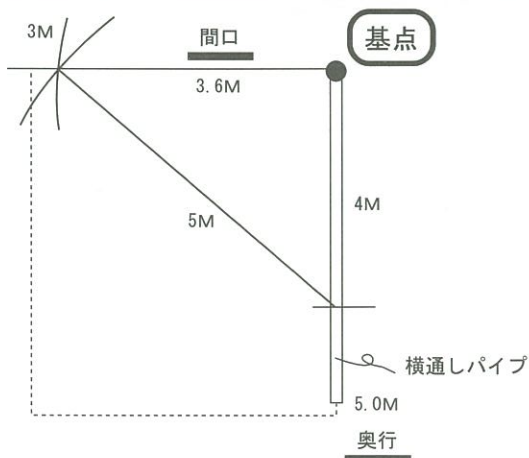
! 全ての継ぎ目を抜けない様につぶして下さい。
(完成後、風などの揺れで、抜ける事が有ります。)



3組作ります。



4 基点を決め、直角を出す。

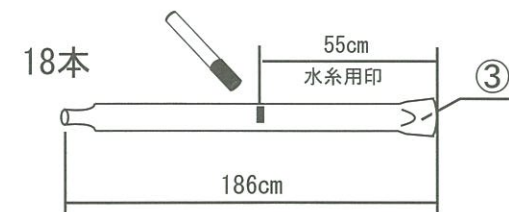
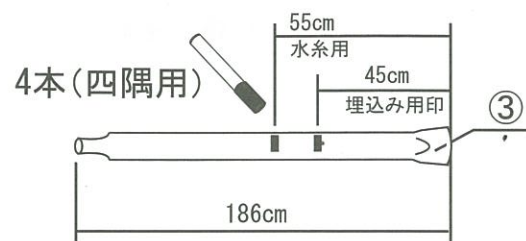


○直角を出す方法

- 基点を決める。
- 横通しパイプを1本置く。
- 基点から4M(横通しパイプに対して)・3M(間口)に対して円をかく様に印を付ける。
- 横通しパイプ上の4Mの印から5M(円をかく様に)とり、3Mとの接点をだす。
- 基点と接点に線をひき、基点より3.6Mに印を付ける。

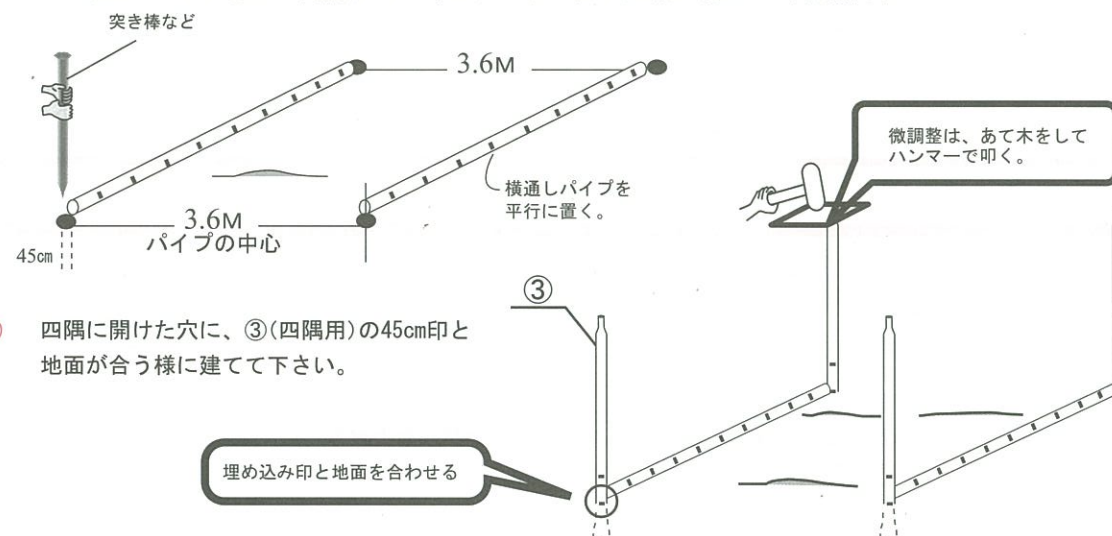
5 脚用パイプに印を付ける。

Bケース ③ 25×186cm 22本



6 脚用パイプを建てる

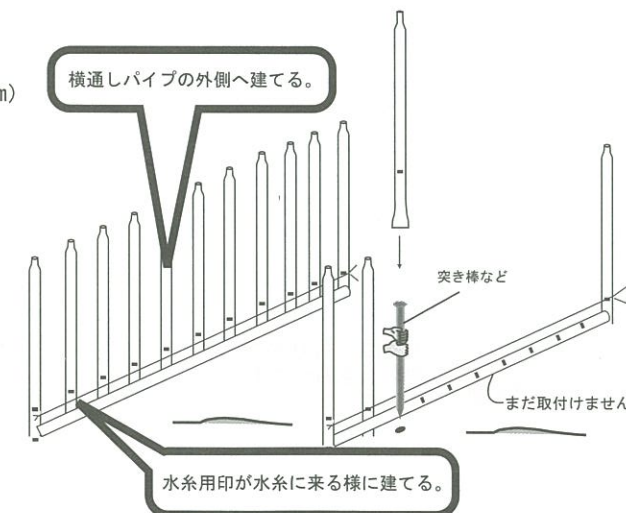
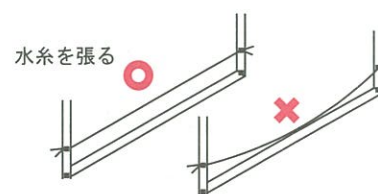
- 継いだ横通しパイプを3.6m間隔(パイプ中心)に平行に置き、四隅に約45cmの穴を掘る。



- 四隅に開けた穴に、③(四隅用)の45cm印と地面が合う様に建てて下さい。

Eケース ④⑤ 水系 1個

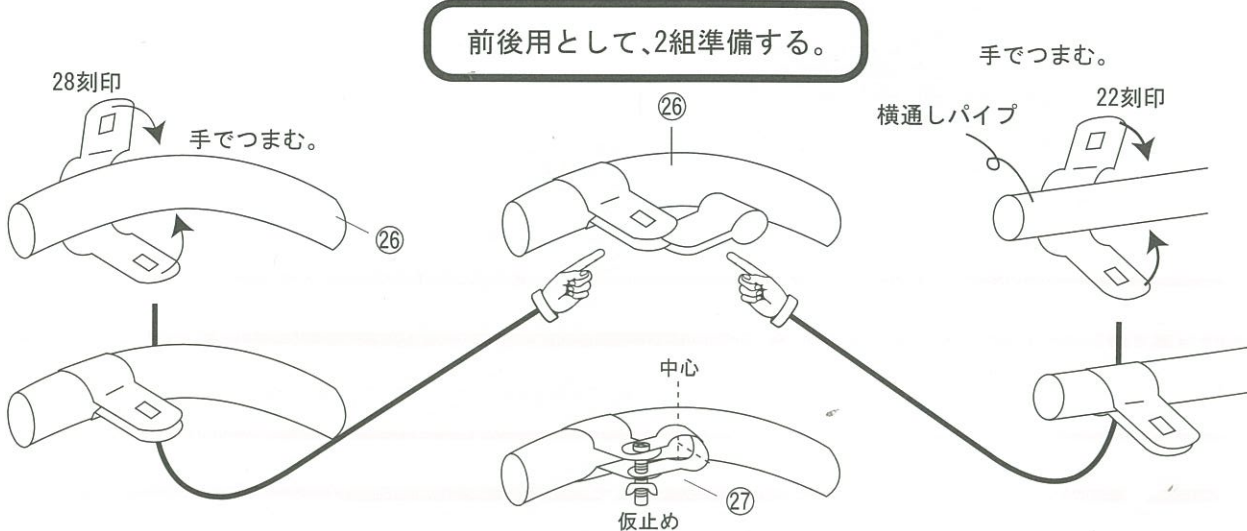
- 四隅に建てた③のパイプに付けた印(水系用55cm)に、④⑤を結び付け、張る。
- 横通しパイプに付けた印(50cm間隔)の位置に約45cm穴を掘る。
- 残りの③のパイプを建てる。(張った水系と、③のパイプの水系用印(55cm)が、合うように建てる。)



7 外ジョイントに部品を取り付ける。

Eケース ②⑥ 外ジョイント 2本 Eケース ②⑦ Wユニバーサルジョイント 2組

- ②⑦の部品を一旦バラして、②⑥に28(刻印)・横通しパイプに22(刻印)を、それぞれ合わせて形を作ってください。
- 形を作った②⑦を②⑥で組み合わせて下さい。

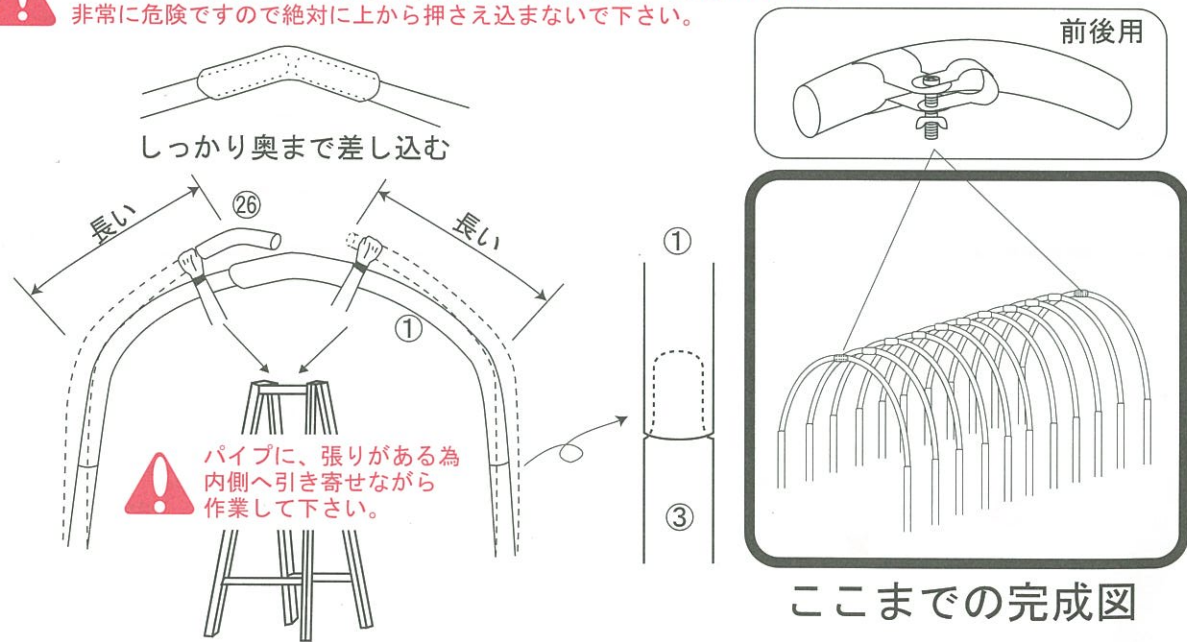


8 アーチパイプを脚パイプに差し込み、組む

Aケース ① 25×220cm 22本 Eケース ②⑥ 外ジョイント 9本

- ①を下図のように③に、差し込んで下さい。
- ②⑥を①に差し込み、継ぐ。7で作った2組は、最前と最後に使用して下さい。

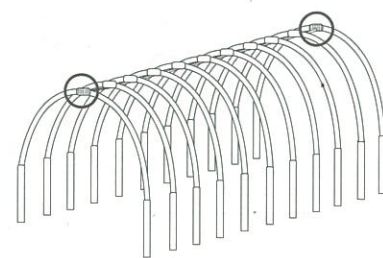
⚠ 上から押さえ込む様になると、差し込みが失敗した時パイプがハネ上がり非常に危険ですので絶対に上から押さえ込まないで下さい。



9 横通しパイプを本体内側に取り付ける。

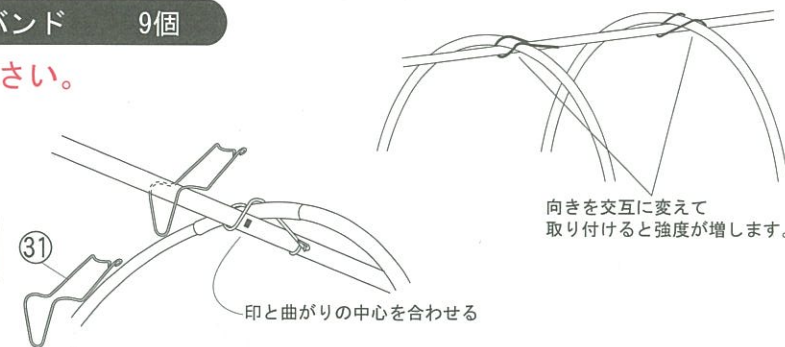
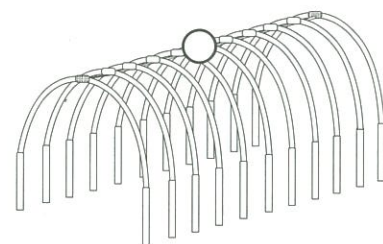
- 図の順番に横通しパイプを取り付けて下さい。

前後2箇所に取り付けて下さい。



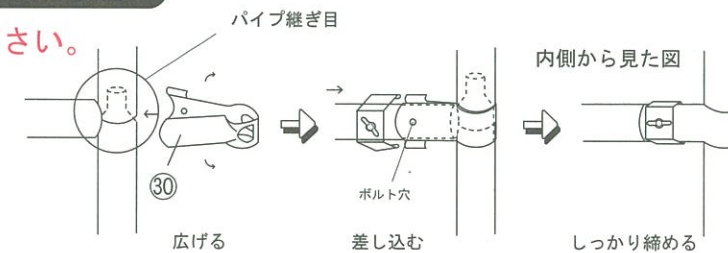
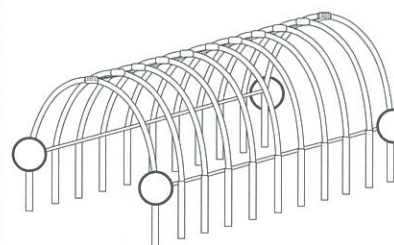
Eケース ③① フックバンド 9個

天井9箇所に取り付けて下さい。



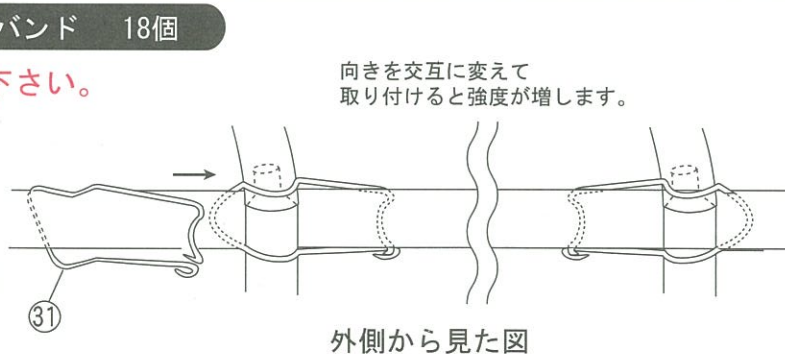
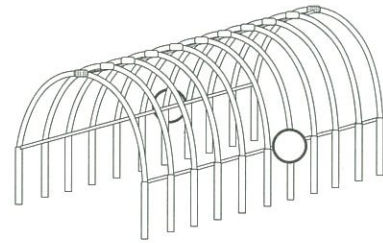
Eケース ③⑩ Tバンド 4組

前後左右4箇所に取り付けて下さい。



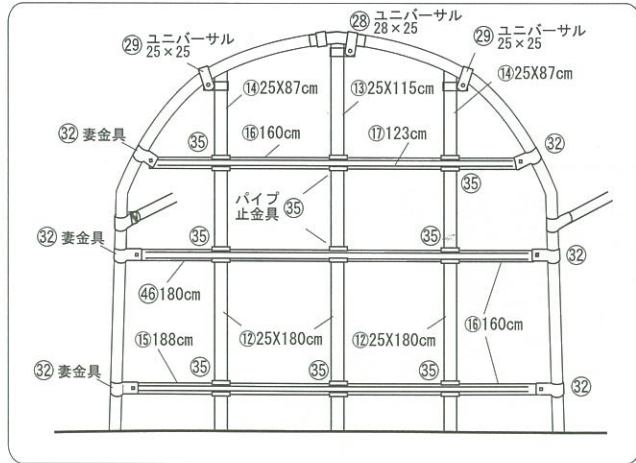
Eケース ③① フックバンド 18個

左右18箇所に取り付けて下さい。



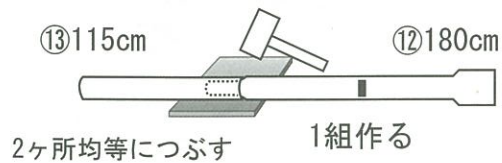
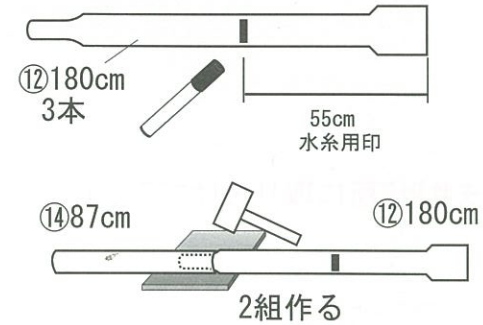
本体骨組完成

10 後部パイプ組み立て(出入り口ではありません。)



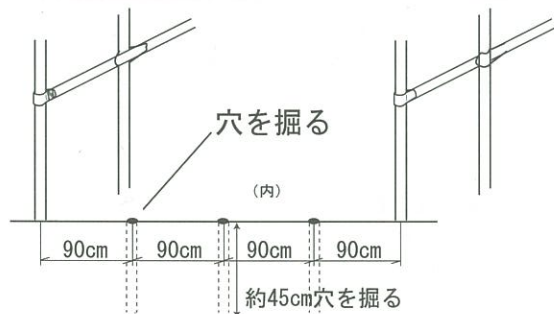
Cケース ⑫	25×180cm	3本
Cケース ⑬	25×115cm	1本
Cケース ⑭	25×87cm	2本
Eケース ⑳	ユニバーサルジョイント28×25	1組
Eケース ㉑	ユニバーサルジョイント25×25	2組

(1) ⑫後用パイプに、印を付けて下さい。

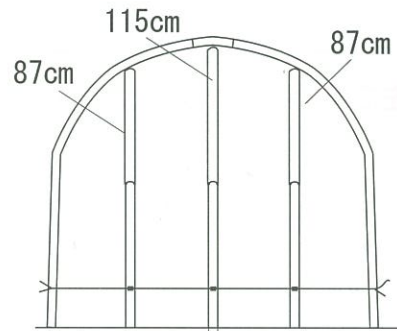


※継ぎ目をしっかり差し込み、中心を抜けない程度につぶす。その時、下に固いものを敷く。

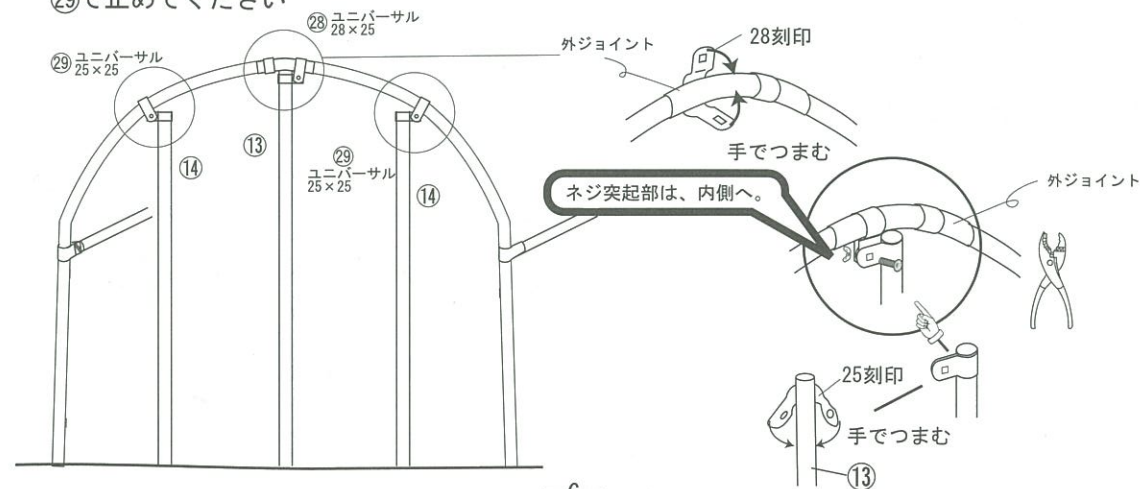
(2) 間口の中心に、約45cm穴を掘る。



(3) 間口両端脚パイプの水糸用印に水糸を張り、⑫の印が合う様に建てて下さい。

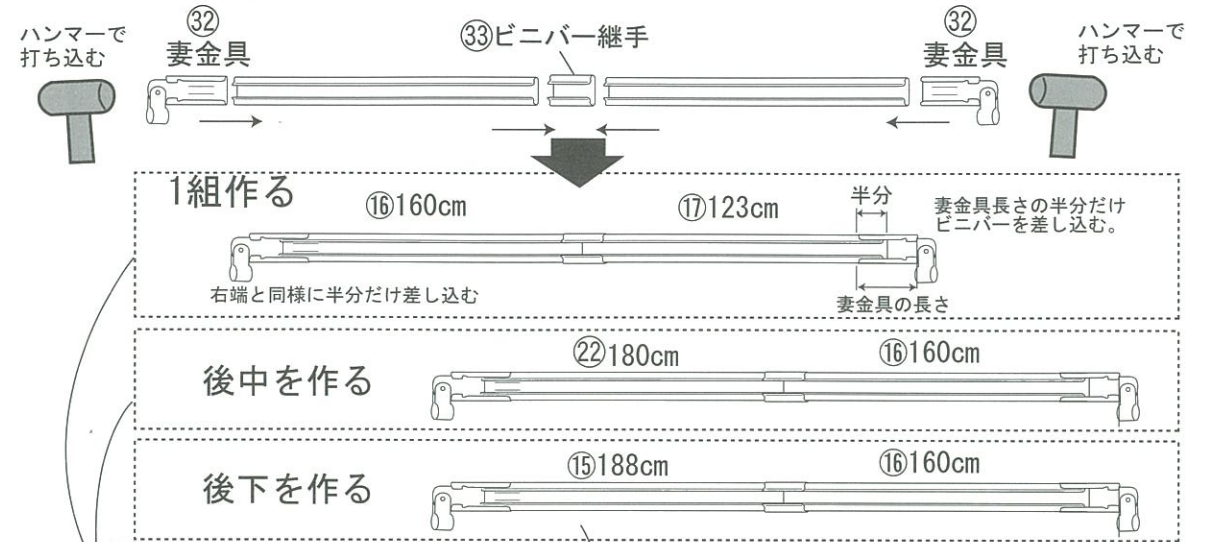


(5) 天井外ジョイントの部分に⑳を取り付けて、⑬を止めて下さい。次にアーチパイプと⑭パイプを㉑で止めてください

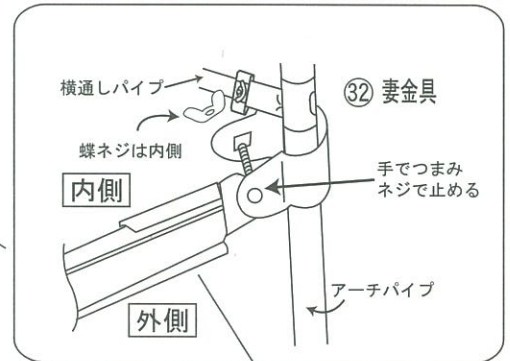


11 後部パイプ組み立て(出入り口ではありません。)つづき

Cケース ⑮	ビニバー 188cm	1本	Eケース ⑳	妻金具	6個
Cケース ⑯	ビニバー 160cm	3本	Eケース ㉑	ビニバー継手	3個
Cケース ⑰	ビニバー 123cm	1本	Eケース ㉒	パイプ止金具	9個
Cケース ㉓	ビニバー 180cm	1本			

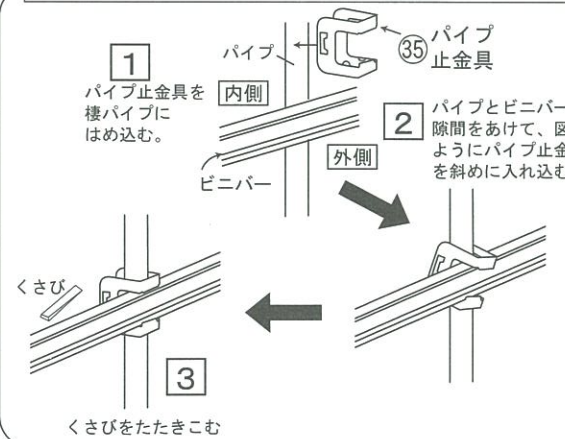


間口中心に建ててあるパイプの外側に取り付ける。

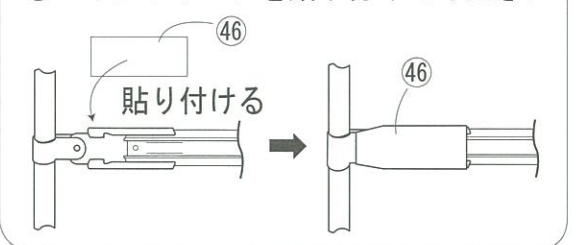


組み立てたビニバーが長いまたは短い場合は妻金具の差込み具合で調節してください。

パイプとビニバーが交差するところの止め方



④6 スポンジテープを貼り付けてください



14 前後パイプ組み立て(出入り口) つづき

Cケース ⑩ ビニバー 142cm 2本

Cケース ⑪ ビニバー 114cm 4本

Cケース ⑨ 22×120cm 1本

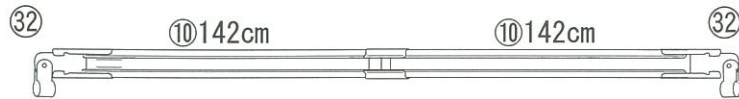
Eケース ⑳ 妻金具 10個

Eケース ㉑ ビニバー継手 1個

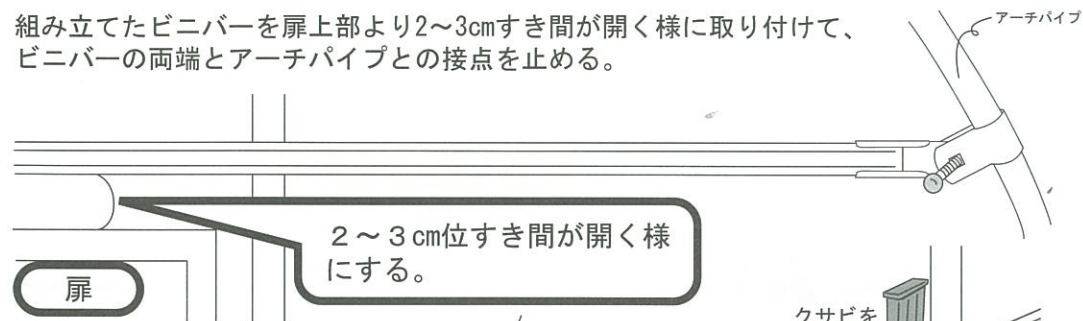
Eケース ㉒ クロスワン 2個

Eケース ㉓ パイプ止金具 8個

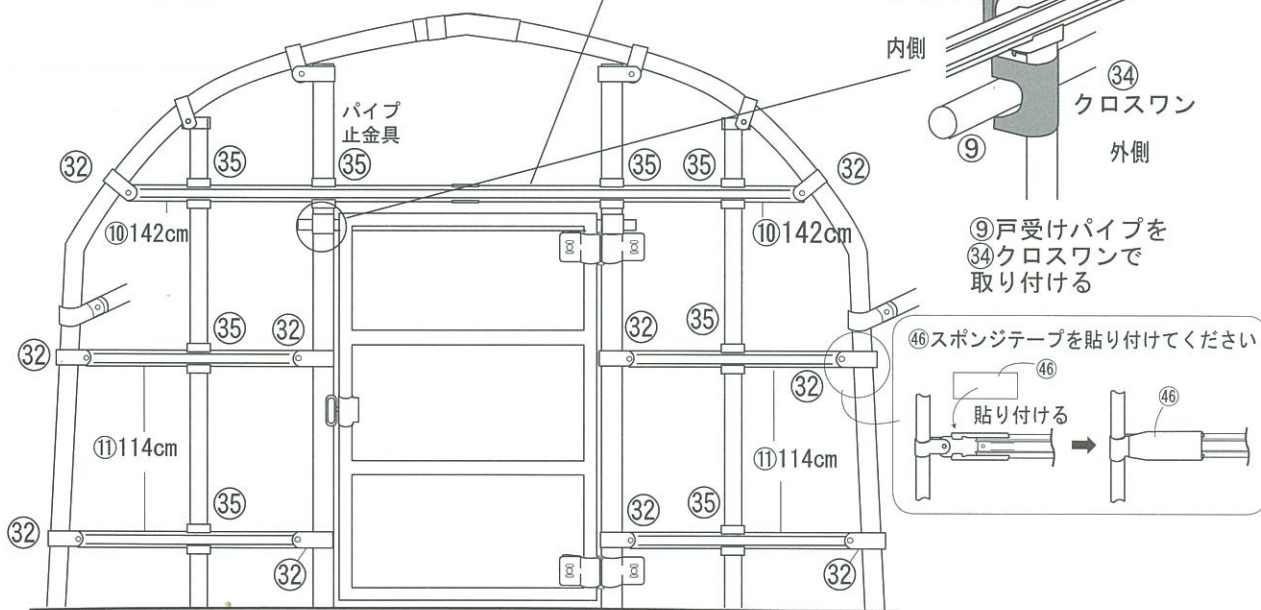
(1) 今までの要領で下図のようにビニバーを組み立てる。



(2) 組み立てたビニバーを扉上部より2~3cmすき間が開く様に取り付けて、ビニバーの両端とアーチパイプとの接点を止める。



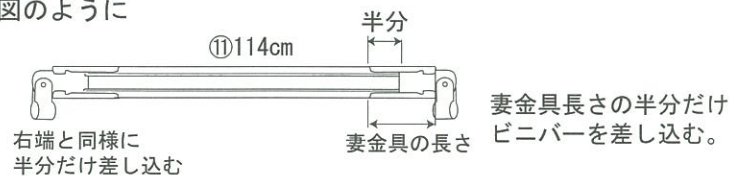
2~3cm位すき間が開く様にする。



(3) ⑪114cmに 妻金具を取り付け、上図のように取り付けてください。

(4) ㉓パイプ止金具を今までの要領で取り付けてください。

(5) ⑨戸受けパイプをクロスワンを使い上図のように取り付けてください。

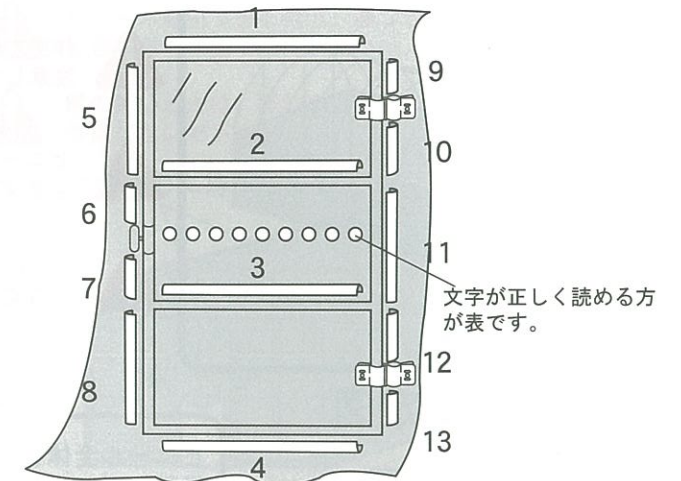
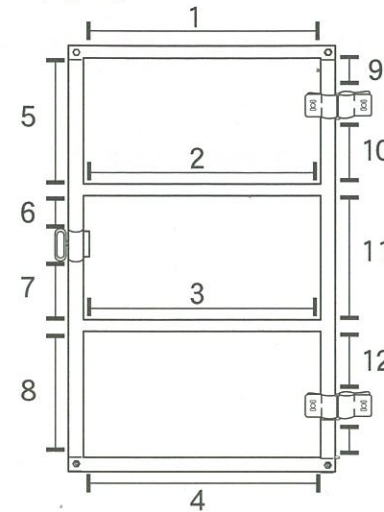


15 扉にビニールを張る。

Cケース ㉔ ロングパッカー

Dケース ㉕ 扉ビニール

扉にビニールを張り付ける為に、㉔を切り揃えて下さい。



㉔ロングパッカーを各1~13の寸法に金ノコノコギリでそれぞれ切る。



●㉔は、カッターで無理に切ろうとすると非常に危険ですので絶対にカッターでの作業はしないで下さい。
●カナノコノコギリ使用の際は、ケガをしないよう注意して下さい。

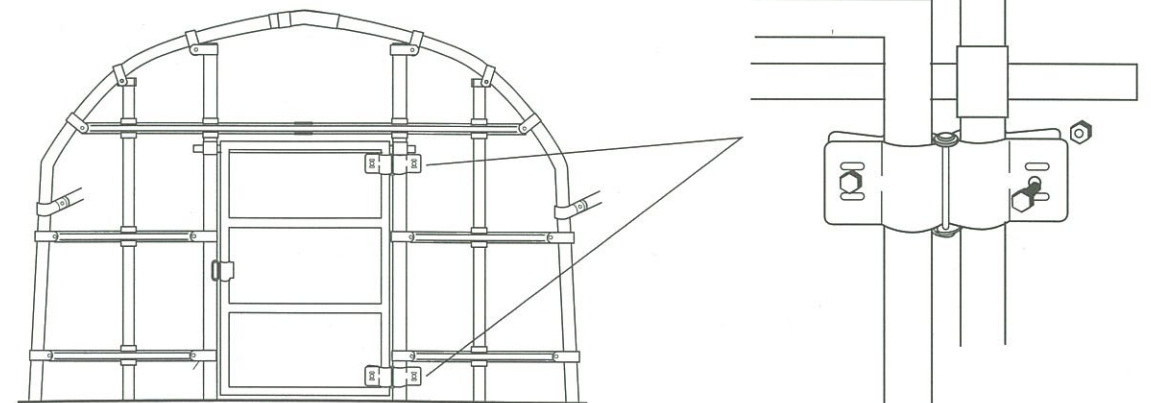


○ピンと張りながら、各数字の順番に取り付ける。(あまり強く張りすぎると取り付けにくいです)
○風などによりはずれない様にキツくなっています。
○取り付け、取り外しを何回もされるとビニールが破れますので注意して下さい。
㉕は1回で取り付けの様に止めて下さい。(何回もやり直すとビニールが破れます。)
㉕は、はずれにくい様にきつくなっていますので、内/外側から同様に抑え込む様に取り付ける。

16 扉を本体に取り付ける。

取り付け後、開閉がスムーズに出来るか確認して下さい。

金具のボルトナットの突起部が内側になる様に取り付ける。

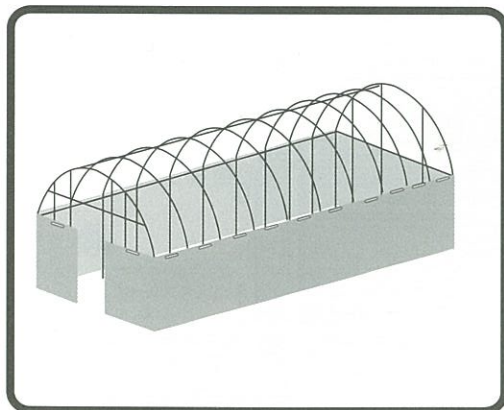


17 側ビニールを張る。

Dケース ②④ 側ビニール

Eケース ③⑦ パッカー22用 20本

Eケース ③⑥ パッカー25用 8本



完成予定図

⚠ 作業する前に、周辺を整理してビニールが傷つかないように注意して下さい。

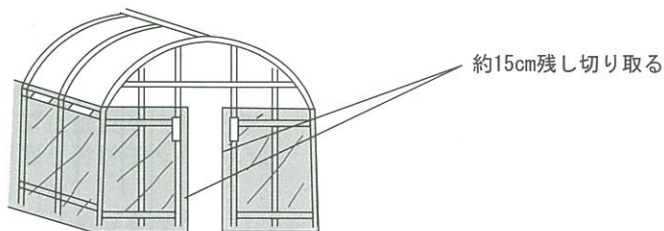
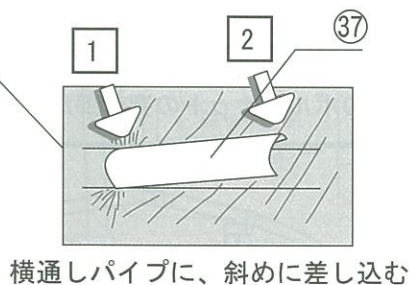
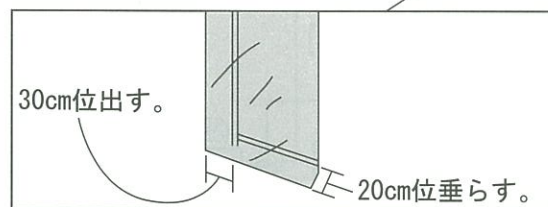
⚠ ビニールを引っ張る際は、傷つきやすいので引きずらない様にして下さい。

⚠ ③⑦③⑥は1回で取り付ける様に止めて下さい。(何回もやり直すとビニールが破れます。)

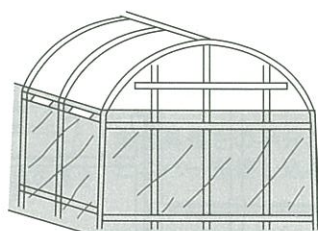
ビニール全体を均一な力で引っ張りながら、各パイプの間の横通しパイプにパッカーで取り付ける。

③⑥
パッカー
25用

前は全てをはめずに、片方だけ差し込み、仮止めにする。



前 (仮止め)

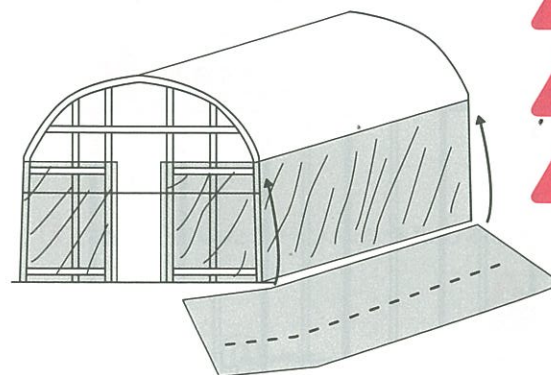


後

18 天ビニールを被せる。

Cケース ②⑩ スプリング

Dケース ②③ 天ビニール



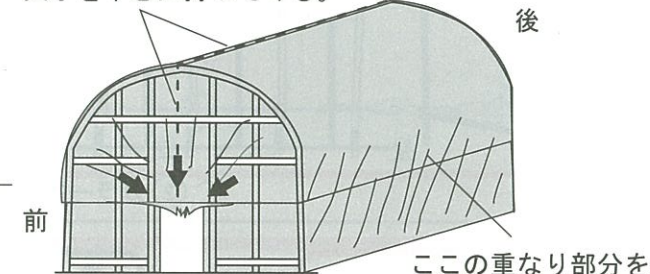
文字が正しく読める方が表です。

⚠ 作業する前に、周辺を整理してビニールが傷つかないように注意して下さい。

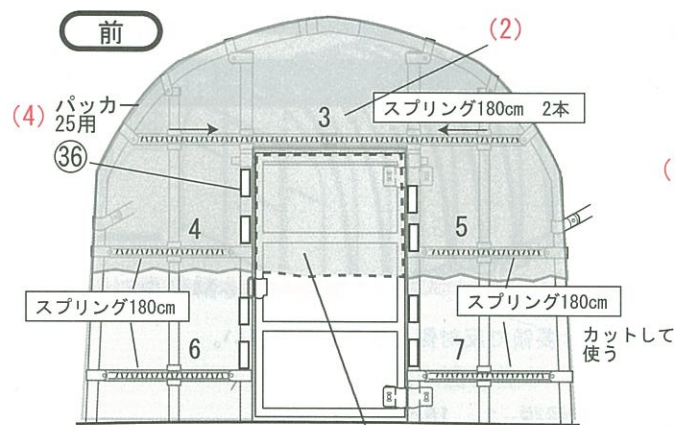
⚠ ビニールを引っ張る際は、傷つきやすいので引きずらない様にして下さい。

⚠ 風の強いときは、思わぬ力で引っぱられますので作業しないで下さい。

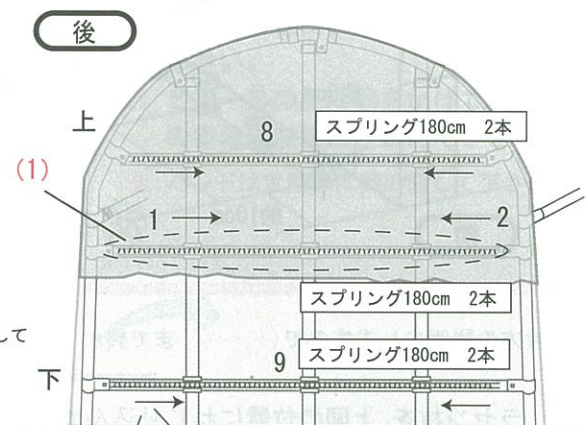
文字を中心を持ってくる。



前後からビニールがピンと張るように引っ張りながら中心によせる。



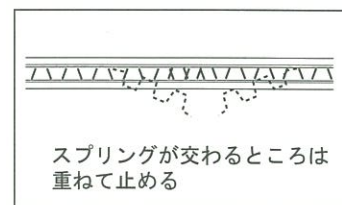
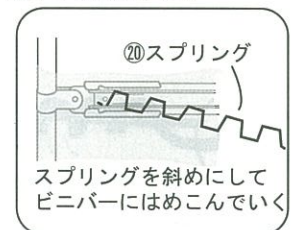
(5) 切り取る。



(3) スプリングは端の方から内側へ向かって止めていく

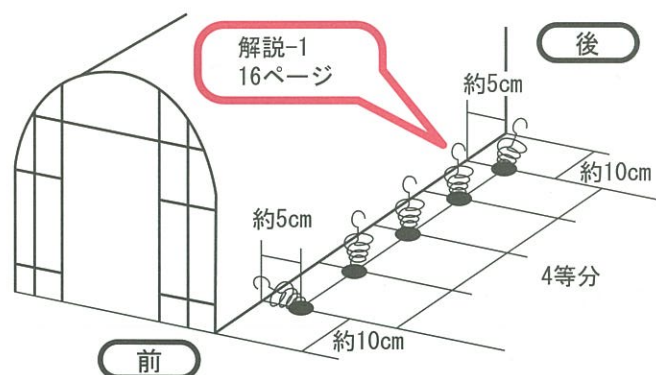
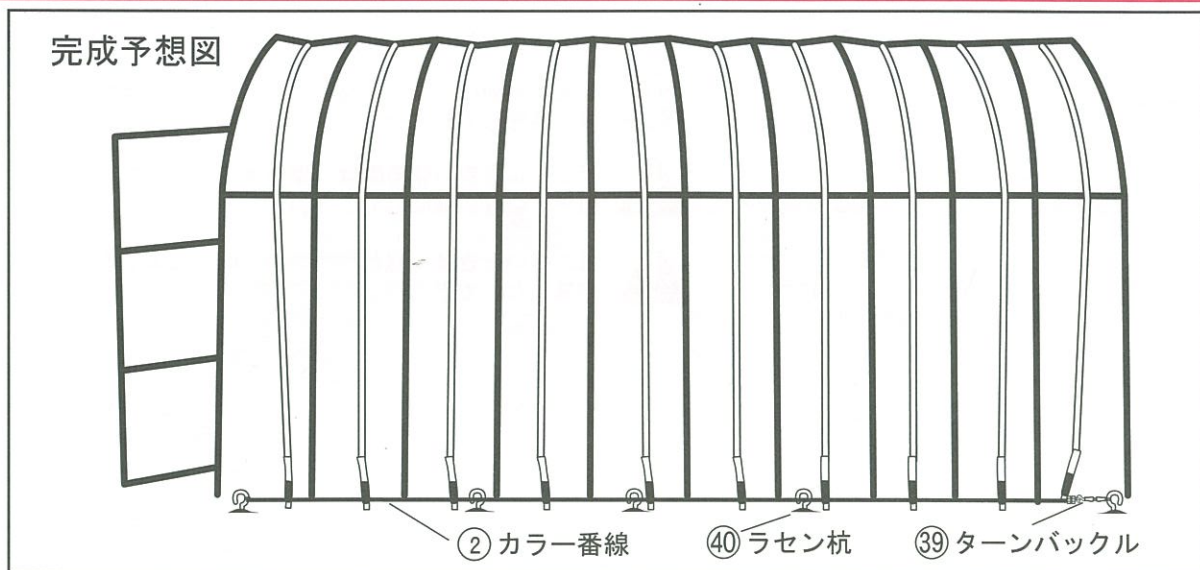
- (1) 前後左右のかさなり部分を確認しながら、後の点線部分を天ビニールと側ビニールと一緒に②⑩で止めて下さい。
- (2) 前の方に天ビニールをピンと張りながら、前の方を数字の順番に止めて下さい。
- (3) 後の方の上ビニール、下ビニールとビニールを数字の順番に止めて下さい。
- (4) 前図の位置にパッカーでビニールを止めてください。(8箇所)
- (5) 前の扉部は、15cm位残して切り取って下さい。

※前後の天ビニール下端部は、特にそのままでも構いませんが、切り取られる際はケガ・切りすぎ等に注意して下さい。



19 ラセン杭をねじ込む。

完成予想図



- Eケース ④⑩ ラセン杭 10本
- Eケース ③⑨ ターンバックル 2本
- Aケース ② カラー番線

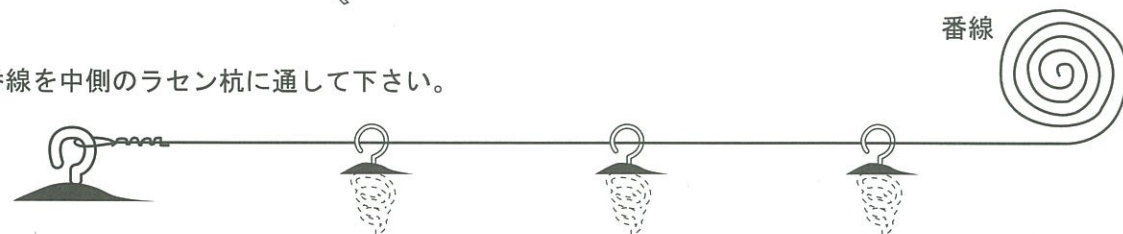
先ず片方の説明をしますので(1)~(6)まで終わりましたら同じ要領で反対側も作業して下さい。

- (1) ラセン杭を、上図の位置にねじり込んで下さい。(解説-1 16ページ)
- (2) 端のラセン杭に、②カラー番線を引っかけてしっかり止めて下さい。

! 折り返し等を長めに取ると、もう片方の長さが足りなくなりますので注意して下さい。



- (3) 番線を中側のラセン杭に通して下さい。



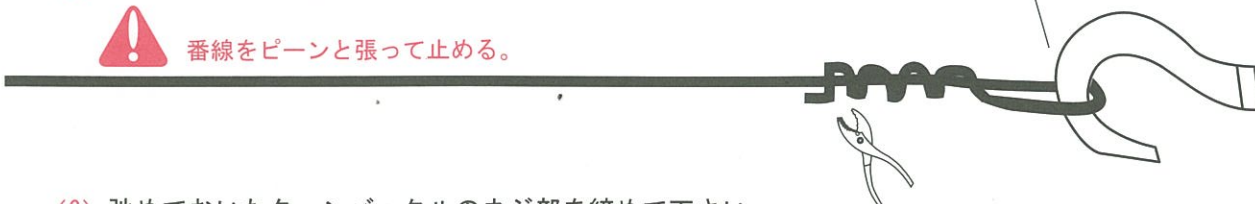
- (4) ターンバックルを、片端のラセン杭に引っかけて下さい。

取り付ける際に、最大に近い所まで広げて下さい。



- (5) ターンバックルに②番線を引っかけてしっかり止めて下さい。

! 番線をピンと張って止める。



- (6) 弛めておいたターンバックルのネジ部を締めて下さい。

! 番線がピンと張る位に。

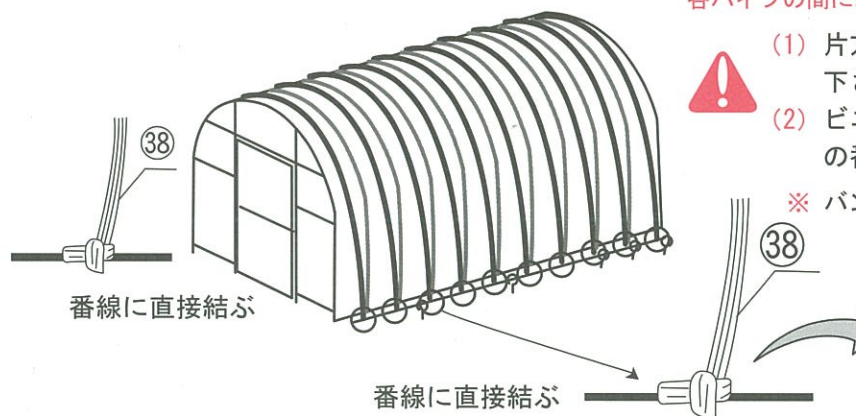


20 ビニールを押える。

- Eケース ③⑧ Rバンド

各パイプの間にバンドを張ります。

- (1) 片方の番線に③⑧を直接結び止めて下さい。
 - (2) ビニールの上に③⑧をかけて反対側の番線に直接結び止めて下さい。
- ※ バンドは定期的に締め直して下さい。



- 商品をも永くご愛用していただく為にも下記事項をお読み下さい。
- 規格等が分かるように、全ての用紙を保管して下さい。

●ビニールについて

- ビニールを燃やすと、有毒なガスが発生しますので絶対に燃やさないで下さい。
- 側ビニールを巻上げたままにしておくと下ろす際にくっついて破れる事がありますので注意して下さい。
- 替ビニールの販売もしています。

●パイプについて

- パイプは、特殊亜鉛メッキ加工を施してありますが、長年ご利用されていると切り口等から錆びが発生します(設置条件で年数は変わります)ので、そのまま使用されると接触したビニールが破れますので、錆び付いたパイプ(部品含む)は、交換して下さい。

●バンドについて

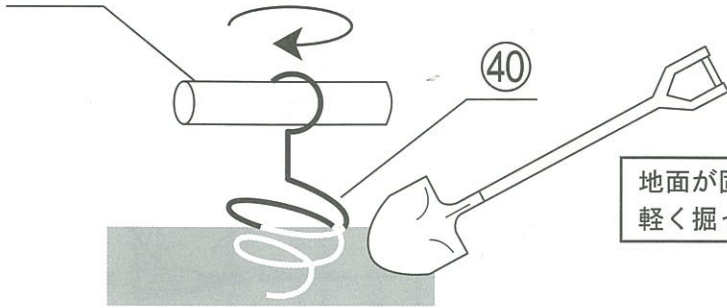
- 長年ご利用されていると老朽等により裂化します(設置条件で年数は変わります)、そのまま使用されると接触したビニールが破れますので、裂化したバンドは交換して下さい。

解説-1

Eケース ④⑩ ラセン杭 10本

ラセン杭に硬い棒を通して、ねじ込む。

硬い棒など



地面が固いときは、スコップであらかじめ軽く掘ってから、ねじ込む。



両端の杭は中側へ向かって斜めにねじり込む

